

# 授業改善推進プラン【国語科】

谷戸第二小学校

## 1 調査結果の分析

平成23年度学力向上を図るための調査の結果を基に観点別に分析した結果と各学年の実態を以下に記す。

### <関心・意欲・態度>

概ね、話の中心、話している内容の順序を考えながら聞き取ることができているので、関心・意欲も高いと考えられる。

### <話すこと・聞くこと>

大半の児童は、話の中心、話している内容の順序を考えながら聞き取ることができている。

### <書くこと>

目的に応じて、内容や文章の組み立てを考えて書こうとはしているものの、文章の組み立てを捉えて書くことに苦手意識がある児童が多い。

### <読むこと>

大体は読み取れているが、筆者の意図を理解することやその表現方法の工夫を捉えられない児童が多い。また、目的に応じて中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を読み解くこともあまりできていない。つまり、段落相互のつながりなどを考え、文章全体の構成を捉えられない児童が多い。

### <言語についての知識・理解・技能>

漢字の読みは概ねできているが、書き取りができない児童が多い。知識の定着が浅いと考えられる。主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係を理解できていない児童が全体の半数以上もあり、文の構成を理解できない児童が多い。

## 2 授業改善の方策

- 言語事項に関する知識・理解・技能について

**児童が日常生活の中で、読んだり書いたりする機会を増やし、主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、文の構成などに注意して話したり書いたりさせるようにする。**

- 読むことについて

文学的文章では、まず物語全体の展開をおおまかに押さえてから、文脈に即して場面の様子を的確にとらえたり、確かめたりする指導の充実を図る。

登場人物の行動の理由や心情を表す言葉を書き出すなど、着目する観点を明確にして場面の様子をとらえさせるようにする。

説明的文章では、**文章全体の概要を正しくとらえさせ、段落ごとの要点を押さえ、段落相互の関係から文章全体の構成をつかませる。**また、情報を取り出すために、大切なところを細かい点に注意して読んだり、**筆者の主張をとらえるために段落の役割を理解したりする指導をていねいに行う。**

## 3 補充的・発展的な学習指導

- 補充的な学習指導としては、文章を読み解く方法を身に付けさせるために、読み取りのコツを示し、短い説明文を使い、スキル学習も取り入れ、少しずつ児童自身が自力で文章を正確に読み取れるようにする。
- 発展的な学習指導としては、自分の考えを文章に表現する機会を増やし、優れた表現を自分の表現活動に生かすような学習計画を立てる。